

熊本大学大学院自然科学研究科(博士前期課程)複合新領域科学専攻
熊本大学大学院自然科学研究科(博士後期課程)複合新領域科学専攻
複合新領域科学講座

学位論文審査基準

**Evaluation Criteria for Theses in Department of New Frontier
Sciences, Field of New Frontier Sciences, Graduate School of Science
and Technology**

学位審査に当たっては、学位申請者が本学及び大学院自然科学研究科複合新領域科学専攻複合新領域科学講座の定める学位授与の方針を満たしていることを前提とする。また、学位申請者が学術研究における倫理性を有していることを条件とする。

As a prior condition to apply for a diploma, a candidate must satisfy all the requirements for the degree that are specified by the university and the Department of New Frontier Sciences, Field of New Frontier Sciences, Graduate School of Science and Technology. A candidate is required to conduct his/her scientific research in accordance with ethical standards.

博士前期課程 学位論文審査基準

Evaluation Criteria for Master's Thesis

次の事項を全て満たしていること。
All of the following requirements must be satisfied.

1. 課題設定の明確化 (Definition of Issues)

明確な問題意識とそれを解決すべく研究の意義および必要性が述べられていること。

Accurate awareness of the issues as well as the purpose and necessity of the research to solve the issues must be mentioned in the thesis.

2. 先行研究・資料の取扱いの適切性 (Proper Treatment of Preceding Studies and Data)

当該分野の先行研究・資料の把握と言及に加え、それを踏まえた研究の位置づけがはっきりしていること。

Previous studies and data in the relevant research filed and positioning of this study in the field must be mentioned in the thesis with clear and correct understanding of them.

3. 研究方法の妥当性 (Appropriateness of Research Method)

研究の目的に適した研究方法が用いられていること。

Proper methods for attaining the research purpose must be used.

4. 論証方法や結論の妥当性と意義 (Appropriateness and Significance of Demonstrational Process and Conclusion)

問題設定、分析、結果、考察までの論旨が明確でありかつ一貫していること。

The point of an argument of the thesis including the research subject, analyses, results, and discussion must be consistent and clear.

5. 論文構成・表現・表記法の適切性 (Appropriateness of Construction, Expression and Notation of Thesis)

学術論文としての語句の使い方や文章表現が適切であること。

Appropriate expressions must be used for the thesis as an academic paper.

6. 学術的または社会的な貢献 (Contribution to Academia or Society)

学術的に一定の新規性または独創性があるか、または社会の要請に答える可能性を持っていること。

The thesis must include the contents that show originality, creativity, or possibility of meeting social demands.

博士後期課程 学位論文審査基準

Evaluation Criteria for Doctoral Thesis

次の事項を全て満たしていること。

All of the following requirements must be satisfied.

1. 課題設定の明確化 (Definition of Issues)

明確な問題意識とそれを解決すべく研究の意義および必要性が述べられていること。

Accurate awareness of the issues as well as the purpose and necessity of the research to solve the issues must be mentioned in the thesis.

2. 先行研究・資料の取扱いの適切性 (Proper Treatment of Preceding Studies and Data)

当該分野の先行研究・資料の把握と言及に加え、それを踏まえた研究の位置づけがはっきりしていること。

Previous studies and data in the relevant research filed and positioning of this study in the field must be mentioned in the thesis with clear and correct understanding of them.

3. 研究方法の妥当性 (Appropriateness of Research Method)

研究の目的に適した研究方法が用いられていること。

Proper methods for attaining the research purpose must be used.

4. 論証方法や結論の妥当性と意義 (Appropriateness and Significance of Demonstrational Process and Conclusion)

問題設定、分析、結果、考察までの論旨が明確でありかつ一貫していること。

The point of an argument of the thesis including the research subject, analyses, results, and discussion must be consistent and clear.

5. 論文構成・表現・表記法の適切性 (Appropriateness of Construction, Expression and Notation of Thesis)

学術論文としての語句の使い方や文章表現が適切であること。

Appropriate expressions must be used for the thesis as an academic paper.

6. 学術的または社会的な貢献 (Contribution to Academia or Society)

学術的に新規性または独創性があるか、または社会の要請に答える可能性を持っていること。

The thesis must consist of the contents that show originality, creativity, or possibility of meeting social demands.

熊本大学大学院自然科学研究科複合新領域科学専攻複合新領域科学講座
「学位授与の方針」

博士前期課程

1. 学位授与の要件

博士前期課程の修了の要件は、前期課程に2年以上在学し、31単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。なお、複合新領域科学特別研究、異分野融合実験、国際先導若手研究者合宿研修は必修である。

ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

学位審査は、主査1名、副査2名以上により構成される審査委員会により行われ、その報告を受けて本研究科教授会での審議によって最終判定される。

2. 修得すべき知識・能力

1. 高度な専門的知識・技能及び研究力

専門の異なる複数の教員による英語での共同講義及びコースや専攻でのゼミを通して、異分野融合最先端学問分野の科学知識及び先端技術について十分に理解していると共に、関連する学際分野に対する知見を有している。

2. 学際的領域を理解できる深奥な教養力

異分野融合最先端学問分野に関する研究の推進とその発展・継続に貢献できる素養を有している。

3. グローバルな視野と行動力

コースや専攻でのディスカッション及び国内外の学会活動を通して、効果的な研究課題の選定方法及び実際の研究方法を習得し、さらにその成果を発表する能力を有している。

4. 地域社会を牽引するリーダー力

他の研究機関や民間との共同研究などインターンシップの機会を通して、実際の社会に通用する実践力や企画力を有している。

博士後期課程

1. 学位授与の要件

博士後期課程の修了の要件は、後期課程に3年以上在学し、12単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

ただし、在学期間に関しては、優れた業績を上げた者については、当該課程に1年以上在学すれば足りうるものとする。なお、異分野融合実験、プロジェクトゼミナール、国際先導若手研究者合宿研修は必修である。

学位審査は、主査1名、副査2名以上により構成される審査委員会により行われ、その報告を受けて本研究科教授会での審議によって最終判定される。

2. 修得すべき知識・能力

1. 高度な専門的知識・技能及び研究力

研究成果を学術専門誌に公表し、それらを学位論文にまとめることにより、研究成果の効果的な発表方法を修得している。

2. 学際的領域を理解できる深奥な教養力

専門の異なる複数の教員による英語での講義、研究室内のゼミ及びプロジェクトゼミナールを通して、異分野融合最先端学問分野である衝撃超高圧、バイオエレクトリクス、環境軽負荷及び水環境共生の科学知識及び先端技術について深く理解していると同時に、関連する学際分野についても十分な知識を有している。

3. グローバルな視野と行動力

コースや専攻でのディスカッション及び国内外の学会活動を通して、効果的に研究課題を選定し、実際の研究方法を習得し、複合新領域分野を開拓する素養を持ち合わせる。

4. 地域社会を牽引するリーダー力

- ・海外インターンシップ及び特許実習を通して、他の研究機関や民間との共同研究を積極的に進めることで、実際の社会に通用する実践力や企画力を有している。
- ・技術者に必要な倫理観と公正な判断力を有している。